

## 何故、部下が思うように動かないのか？

部下が思うように動かない時、マネジャーの口からよく聞かれる言葉があります。それは、「いつも言っているんですけどねえ」です。

方針を部下に説明したり、部下の不適切言動に対し、全く注意をしないマネジャーはいないでしょう。“いつも言っている”ことは間違いのないのでしょうか。しかし、部下は動かない場合が少なからずあります。また、一度は動くものの、すぐ元に戻ってしまうことも多々あります。

では、何故動かないのでしょうか。それは3つのケースが考えられます。

| 指導しているが、その通り部下が動かない原因 |
|-----------------------|
| ①部下が理解できていない          |
| ②部下が納得していない           |
| ③部下のレベルに合っていない        |

### ①部下が理解できていない

実はこのケースが非常に多くあります。要するにマネジャーの話が“わかりにくい”のです。部下はマネジャーの話がわかりにくくても、「わかりません」とは、まず言いません。わかっていなくても「わかりました」と言うものです（特に最近の若手社員は）。しかし、マネジャーは部下が「わかりました」と言われると、伝わったと判断してしまうのです。やっかいなのは、自分の話がわかりにくいと自覚できているマネジャーが、意外と少ないことです。

### ②部下が納得していない

マネジャーは大問題だと思っけていても、部下は、そう思っていないことがあります。また、自分が悪いと思っけていない部下もいます。その状態で、いくらマネジャーが、いろいろ指示をしても、部下は真剣に聞いていないでしょう。それでも「わかりました」と言うものです。

したがって、対話では、事実確認と問題意識高揚というプロセスが不可欠となります。しかし、そのマネジャーは事実確認も問題意識もあるため、部下も同じと考え、これらプロセスを抜いてしまうのです。

### ③部下のレベルに合っていない

部下は理解、納得していても、思うように動かない時があります。それは、指示・指導内容が部下のレベルに合っていないからです。よくあるのが、レベルが高すぎる指示・指導内容となっているケースです。“動かない”ではなく、“動けない”のです。プレイヤーとして優秀だった人がマネジャーになると、非常によく見られます。つい自分と同じレベルで部下を見てしまうのです。

いずれのケースも「わかりました」という反応なので、部下が動かないとマネジャーはイライラしてしまいます。その結果、部下のせいにしてしまうのです。

しかし、この状態が続けば、部下のモチベーションは低下し、退職にもつながるでしょう。

弊社のマネジャー研修では、部下指導対話ロールプレイングを通じ、上記3点に陥っていないかを検証することができます。

ご興味のある方は、是非、下記よりご連絡下さい。



> お問い合わせはこちら